

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
幼児造形表現法Ⅰ		櫻井 俊夫	演習	2	前期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	<p>幼児の健全な成長発達を促す上で、造形活動はどのような意義・役割を果たすか、幼児の発達理論と実践事例を踏まえて、次の事項について指導する。</p> <p>(1) 幼児の成長発達と幼児・保育・教育の関係  (2) 幼児の成長発達と造形活動との関係  (3) 造形表現の発達段階</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	発達に関する基礎知識	発達とは何か			
2		発達の法則性と順序性 発達の臨界性と適時性発達 課題と保育 教育目標等について			
3	発達と環境	環境の心理社会的影響			
4		環境からの影響と模倣性、探求性、好奇心 発達と学習 人的環境としての幼児への働きかけ等について			
5	課題の提出と指導	1～4回の授業内容から課題を提出し、記述の仕方、理解等について指導する。			
6	手を主とする活動と脳の発達との関係	手や身体活動と脳の発達との関係 感覚器としての手の働き等について			
7	造形表現の発達課程	造形表現の発達の過程を発達段階理論に基づいて指導する。			
8	造形活動の発達の意義	心身の発達を促す造形活動とは 幼児期における造形活動の実践事例			
9	課題の提出と指導	6～8回の授業内容から課題を提出し、理解の状況について指導する。			
10	子育て・保育の現状と問題点	家庭における遊びの中の造形活動			
11		保育所・幼稚園における造形活動 環境の変化と遊びの変質等の問題点について			
12	諸外国における幼児教育と造形活動	欧米先進国の幼児教育とその中における造形活動について			
13	課題の提出と指導	これまでの学習内容を総括的にまとめ、保育者として望ましい造形活動の実践にかかわる課題を提出し、助言を得る。			
14					
15	前期まとめ				
参 考 書	担当者まとめた下記講義資料集2冊を配布する。 「美術教育は、教育の中でどのような役割を果たさなければならないか」 「明日では遅すぎる」				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）					
評価の方法と時期	課題に対する記述内容を資料として評価する。				